

## 日立製作所学校教育発祥地

日立市白銀町1-1-3（熊野神社）

J R常磐線日立駅から北西へ約2キロメートル、日立インダストリアルプロダクツ日立事業所（旧日立製作所山手工場）の南東側に熊野神社があります。境内の奥、宮田川に近い場所に「日立製作所学校教育発祥地」と刻まれた石碑が建っています。この碑は、昭和



35年（1960）に建てられたものです。

日立製作所の創業者である小平浪平は、明治43年（1910）、日立製作所創業と前後して、「事業の発展は人にあり」という理念のもとに、技術者である職工の養成機関である「徒弟養成所」をこの地に開設しました。初年度の生徒は工場の見習工36名で、工場内で教育を始めました。国産の電機産業が始まったばかりのこの頃、電気・機械技術を習得した職工はほとんどなく、電機業界としては、人材の養成は急務のことでした。開設の翌年には工場の近くに寄宿舎と教室が完成しました。このことが、現在の日立製作所が運営する企業内学校、「日専校」と呼ばれる「日立工業専修学校」のルーツです。

昭和3年（1928）には、徒弟養成所が廃止され、新たに「日立工業専修学校」が設置されます。その後、昭和10年（1935）、青年訓練所と合併し、「日立工業青年学校」と改称されます。そして、昭和15年（1940）に日立市成沢町に校舎と寮舎を新築、移転します。昭和20年（1945）8月には、太平洋戦争終結により、いったん閉校し、翌9月に「日立茨城青年学校」として開校、昭和23年、「私立日立工業専修学校」と改称し、各種学校として認可を受けます。昭和39年（1964）には、「科学技術学園工業高等学校（通信教育）」の開設に伴い、これとの併学を開始しました。昭和53年（1978）には学校教育法に基づく専修学校となり、現在に至っています。

茨城教育 第八六五号

令和三年二月二十日発行

編集責任者 樋口 浩史

発行人 樋口 浩史

発行所 一般団体 茨城県教育会

水戸市見和一 一三五六一一

電話 〇二九一三二一 二七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所